

第3回九頭竜川流域懇談会 議事骨子

日時：平成21年8月7日（金）13：55～16：50

場所：福井県国際交流会館 地下1階 多目的ホール

第3回九頭竜川流域懇談会の内容は次のとおり

審 議

・第2回流域懇談会の指摘事項に対する回答について

河川管理者から第2回流域懇談会での指摘事項について、以下の説明を行った。

- 1．現川改修について
- 2．放水路の諸元について
- 3．トンネル放水路への魚の迷入について
- 4．トンネル放水路の多目的利用について
- 5．現川改修の代替え案比較について
- 6．流出計算について
- 7．費用対効果について

・九頭竜川水系中流部ブロック河川整備計画の概要について

河川管理者から九頭竜川水系中流部ブロック河川整備計画について、以下の説明を行った。

- 1．河川整備計画の概要
- 2．河川整備計画本文の修正箇所について

・住民意見の聴取について

河川管理者から住民意見の聴取方法と住民説明会の、開催日時・場所・内容等の説明を行った。

■委員からの主な意見

第2回流域懇談会の指摘事項に対する回答について

- ・3条放水路案の流量配分根拠を教えてほしい。
- ・ゲリラ豪雨の対応として合理式の適応性を教えてほしい。
- ・開水路が良いという住民意見もあるが、開水路にしなかった理由を教えてほしい。
- ・放水路分流部の仕組みや管理・操作者について教えてほしい。
- ・近年増加している集中豪雨に対して、現在の分担計画（河道と放水路）で洪水に対して処理できるのか否かを説明してほしい。
- ・魚類への配慮から、低々水路より上部にも水路をつくっているが、両側である必要はなく、片側には土や緑を配置してはどうか。

- ・河道の流下能力を超える洪水が発生することも十分考えられるため、超過洪水が発生することもあることを十分に住民に対して説明する必要がある。
- ・自然を元に戻す努力を、地元も一緒にやっていくべき。
- ・合理式による流出計算に関して検証した結果を示してほしい。
- ・大蓮寺川は急勾配であるため、魚類等が上下流を行き来することは難しいと考える。現川改修に当たっては、今後、専門家と相談して取り組みを考えてほしい。
- ・落差があるから魚の上下流移動が遮断されていると考えるのは早計。様々な工夫をするより現況の河川がはるかに優秀であると考え。魚道として水路を別に作れば良いというわけではない。
- ・現川改修＋放水路２条案とする事については了承する。
- ・現川改修の整備内容については、本懇談会における各委員の意見を踏まえ、今後、実施設計時に十分検討することです承する。

九頭竜川中流部ブロック河川整備計画について

- ・適正な水利用管理のほかに、水利用調整の文言も追加してはどうか。
- ・慣行水利権の実態把握はどのように取り組んでいるのか。
- ・下荒井堰より下流における、発電取水に伴う流量減少は具体的にどのくらいか。
- ・放水路が満管になった場合の浮き上がりは大丈夫か。
- ・本文の現川改修における横断図は、もう少し、見栄えの良いものにならないのか。
- ・現川改修について、流速に強い植物を植えれば、通常時は流速を緩め、河川が持つ浄化作用を発揮することができ、洪水時は倒伏して洪水流の妨げにならないのではないか。
- ・整備計画（原案）の現川改修の部分について、本懇談会における各委員の意見を踏まえ、整備にあたり配慮する事項の文言とイメージを修正すること。
- ・事務局には環境省や農林水産省等の関係機関も含めるべきではないか。

住民説明会について

- ・地域住民に整備計画へ関心を持っていただくために、多くの地域住民に集ってもらえるよう努力すること。

事務連絡等

第４回九頭竜川流域懇談会の開催は１０月下旬を予定する。

（以上、１６：５０閉会）